

## 8月定例会

◆日時：8月26日（水）14:00 - 16:00

◆開催方法：オンライン研究会（全員）（Microsoft Teams を用いる）

◆プログラム

13:45 - 14:00 接続確認・調整

（参加申込を頂いた方には接続のリンクをお送りいたします）

14:00 - 14:05 オープニング 会長

14:05 - 14:30

講演（1）「オフィスの新たな課題とソリューション（その2）」

同志社大学名誉教授 三木光範

14:30 - 15:20

講演（2）「マイクロソフトの考えるニューノーマル時代の働き方とこれからのオフィス環境のありかたについて」

日本マイクロソフト エグゼクティブアドバイザー 小柳津 篤

<https://www.businessinsider.jp/post-205879>

[https://cloudblogs.microsoft.com/industry-blog/ja-jp/microsoft-in-business/2018/11/22/hatarakikata\\_seminar2017/](https://cloudblogs.microsoft.com/industry-blog/ja-jp/microsoft-in-business/2018/11/22/hatarakikata_seminar2017/)

<https://tovokeizai.net/articles/-/309803>

<https://it.impress.co.jp/articles/-/14104>

<https://iinjibu.jp/hr-conference/report/r201705/report.php?sid=919>

<https://xtech.nikkei.com/dm/atcl/feature/15/060100165/061300014/>

[https://www.mlit.go.jp/pri/kouenkai/svousai/b\\_191023.html](https://www.mlit.go.jp/pri/kouenkai/svousai/b_191023.html)

15:20 - 15:40

講演（3）「半年間のテレワークで見えてきた長所と課題」

マイクロソフト クラウドソリューションアーキテクト 實田 健

15:40 - 15:55 総合討論

15:55 - 16:00 クロージング

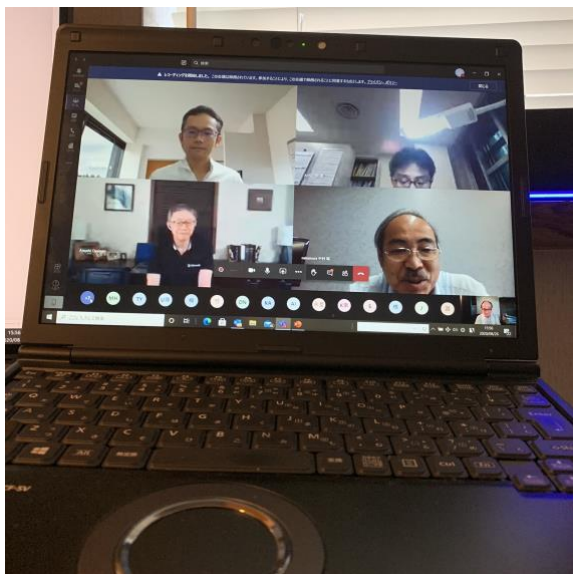
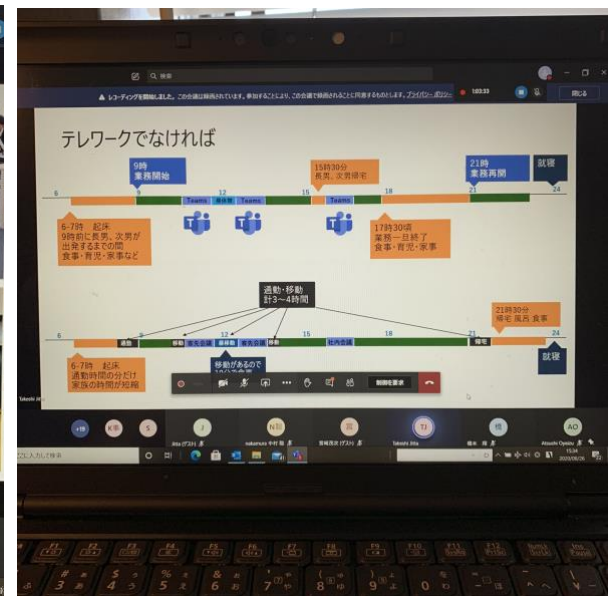
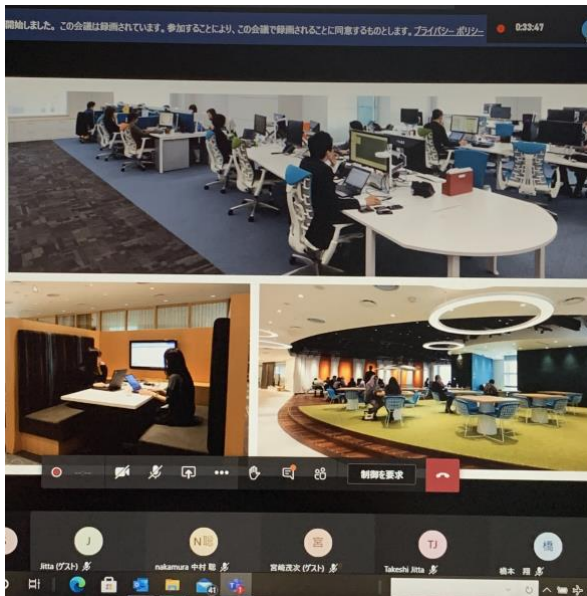
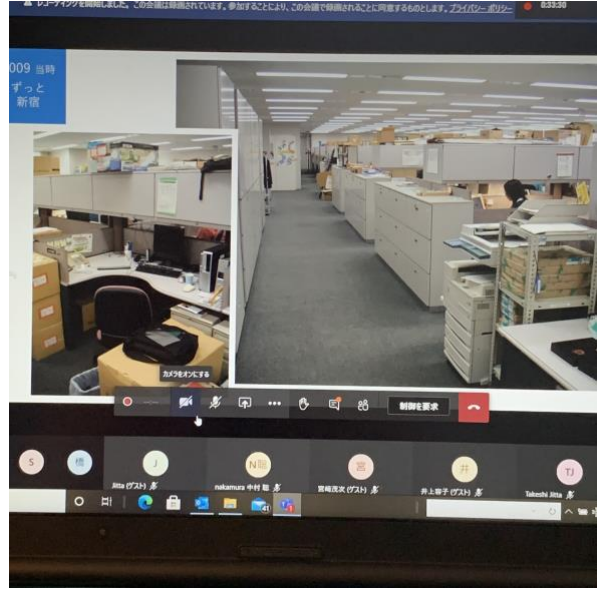
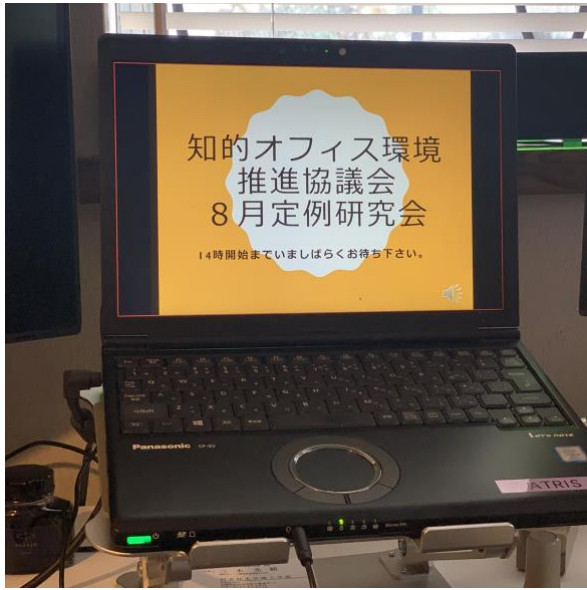
◆当日の写真



知的オフィス環境推進協議会 8月定例研究会

- ◆日時：8月26日（水）14：00～16：00
- ◆場所・方法：オンライン研究会（全員）（Microsoft Teamsを用いる）
- ◆プログラム
- 13：45～14：00 接続確認・調整
- 14：00～14：05 オープニング 会長
- 14：05～14：30
- 講演（1）「オフィスの新たな課題とソリューション（その2）」
- 同志社大学名誉教授 三木光範
- 14：30～15：20
- 講演（2）「マイクロソフトの考えるニューノーマル時代の働き方とこれからのオフィス環境のありかたについて」
- 日本マイクロソフト エグゼクティブアドバイザー 小柳津 篤
- 15：20～15：40
- 講演（3）「半年間のテレワークで見えてきた長所と課題」
- マイクロソフト クラウドソリューションアーキテクト 實田 健
- 15：40～15：55 総合討論
- 15：55～16：00 クロージング





◆開催関係者への礼状

日本マイクロソフト

小柳津様、實田さん

写：知的オフィス環境推進協議会 運営委員各位殿

三木です。

本日は知的オフィス環境推進協議会の8月定例会を貴社のご協力でオンライン開催することができ、誠に有り難うございました。お忙しい中、格別のご配慮を賜り、厚く御礼を申し上げます。

小柳津様のお話は本当に目から鱗の内容でした。貴社が品川のオフィスに移転された後、私どもの協議会でも見学会をさせていただき、そのときは長坂将光様のご協力を頂きましたが、当時は日本国内最高のオフィスであり、実に感動的だったことを覚えています。その後は、貴社のオフィスに似たオフィスが続々と生まれ、貴社のオフィスは新時代のオフィスとして本当に最高の注目を集めました。今回、その見学者累計が100万人を超えたと知り、貴社のオフィスは一時代をリードしたと思っています。

しかしながら、それと並行して、いわゆる働き方の大変革があったことも当時ご説明をいただき、コア業務以外はすべてアウトソーシングされ、世界でそれをやる最高の企業を探して、そこに委託するという話をお聞きし、これこそが新時代の働き方改革であると感動しました。

そして、本日、小柳津様からMicrosoftが行ったフレキシブルワークのコンセプト、方法、課題の解決など、詳細を拝聴することができ、本日研究会を開催して本当に良かったと思っています。一番印象に残った言葉は”我々は政府が掲げるような働き方改革の目的を設定した訳では無い。限られたリソースで、創造的で高い価値を持つビジネスの生産性を必死になってあげようとした結果として、そうした働き方になったのです”という言葉でした。

すなわち、会社に来るのは当たり前、現場に出向くのは当たり前。しかし、現場や会社に来ることができなくても生産性を落とさないという条件で、環境を整備していったことが今に繋がったことです。限られた人数で極めて高い生産性を上げるには、生産性を阻害している業務を無しとする、無しとできないならアウトソーシングする。それで余剰人員が出てきたら、不足しているところに配置転換する、あるいは複雑な業務にチャレンジするなど、実に素晴らしい改革になったことです。

高い目標を達成するには、無駄な業務を無くすしか無かった、思い切った断捨離が必要だった、いつでもどこでも仕事ができる環境が必要だったという、やむにやまれぬ事情でペーパーレスが実現し、リモートワークの環境が整備され、結果として良い仕事ができ、かつ、社員のフレキシビリティが向上した。これが東日本大震災で効果を最大限に発揮し、さらに現在のコロナ状況の中でも仕事が続けられるBCPとして機能していること、すべては生産性を上げることを目標にしてきたことの結果であるという話は、本当に感動的でした。

日本の大木の企業では、「生産性を上げろ！」というトップの命令はいくらでも出せますが、そのためにいままでやってきた仕事の断捨離はなかなかできない企業が多いと思います。その意味で、今日のお話は管理職やトップの方が自分の会社や部門の生産性とは何なのかを真剣に考え、その向上に無関係な業務は断捨離するという思い切ったことができるかどうかにかかって居ると思いました。今までの業務も残して、新たなデジタルトランスフォーメーションも実施せよというのは所詮無理な話です。

社員全員は凡人である。凡人が集まって生産性を高めるには、生産性の低いものを断捨離し、皆で、そしてパートナーとコラボレーションし、3人よれば文殊の知恵の諺のように、チームで高いレベルの仕事に挑戦するしかないという言葉は本当に印象的で、多くの社員が理解できます。そして、理解し、納得しただけでは駄目で、行動し体験することで改革が進むということは本当に重要なことであり、そのためには使いやすく安全なものでなければなりません。便利なものはマニュアル無しで誰でも使ってくれる、これは企業の中で最も重要なことだと思います。毎日の業務で忙しい人が、いくら使えば効果的だよと教えても、それを体験して十分で行動変容を起こさないなら、それは改革には結びつかないということを教えられました。

現在、コロナの感染者数の報告なども、医療機関から FAX で保健所に、保健所から FAX で都庁などに送られているようであり、それを馬鹿げたことだと非難する前に、現場の人が「このデジタル端末の方が簡単だ」と行動変容を誘うユーザインタフェースやユーザエクスペリエンスを与えなければならぬと思いました。厚生労働省が作ったハースという感染者報告システムの使い勝手が酷く悪いのだと思います。

次にお話をいただいた實田さんの話では、半年ほど、ほとんど会社に出向かず、自宅でリモートワークをされている方の日常生活を知ることができ、大変興味深いものでした。昔ならお子さんが小さい頃は仕事が一番忙しいときであり、23時頃に毎日帰宅というのは当たり前前の時代でした。それが、9時から仕事を始め、17時半には一旦終了して家族との食事時間や家事を行い、必要に応じて21時から仕事を少し行うというフレキシビリティは、私の昔の生活ではあり得ないことでした。私は自慢にはなりません、ドクターを出て社会人となった時から今年の3月に退職するまで、22時から23時の帰宅は当たり前、土曜日の出勤は当たり前という環境で過ごしてきました。如何に生産性が低かったか、また無駄な仕事をしていたのかと思うと、うらやましい限りです。（好きでやっている研究だったので、不満ではありませんが）

自宅勤務での最大の利点は通勤時間や移動時間が無くなるということ、これは大きいですね。家族4人で充実した家庭生活を送りながら、高い付加価値の仕事をオンラインで的確に処理し、充実した生活を送っておられること、これも實田さんが前職の日本 HP 社で獲得した高度な専門的知識が土台となって、現在の Microsoft クラウドサービスに関わっていること、本当に素晴らしいことと思っています。一人の社員の方の生の声を聞くことができ、良

かったと思っています。

なお、一番最初の私の話は、前回の続きであり、NHKのニュースとテレビ東京のWBSからのオフィスや働き方に関する番組を取り上げただけのものなので、誰でも知っていることでしたので、ここでの論評は避けます。

長くなりましたが、本日の研究会にご参加頂いた方は、フレキシブルワークは目的ではなく、生産性の向上が目的だということをお聞きになり、今後、社内で改革を進めるときに大いに参考になったと思います。人と時間とお金という限られたリソースの中で何をすべきなのかを全員が真剣に考えることで、思い切った断捨離をすることの重要性を理解できました。ただ、理解し、納得しただけでは意味がありません。我々の行動変容が最も重要です。

貴重なお話、有り難うございました。大変満足できた研究会となりました。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。